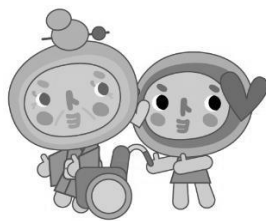


平成29年度

事業報告書



社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業	2	8. ファミリー・サポート・センター事業	
		（1）ファミリー・サポート・センター事業	25
		（2）子育てホームヘルプ事業	28
2. 地域福祉事業		9. 居宅介護支援事業	29
（1）地域福祉活動推進事業	7	10. 訪問介護事業	
（2）福祉啓発事業	10	（1）訪問介護事業	31
（3）うらしまふれあい通所事業	10	（2）生活支援訪問事業	31
（4）相談事業	10	（3）その他訪問事業	32
（5）福祉バス管理運営事業	11	11. 障害福祉サービス事業	
（6）ボランティア活動推進事業	12	（1）障害福祉サービス事業（居宅介護）	33
（7）団体助成事業	12	（2）障害福祉サービス事業（行動援護）	33
（8）認知症サポーター養成講座事業	12	12. 移動支援事業	34
（9）障害児長期休暇中預り事業	13	13. 高齢者デイサービスセンター事業	35
（10）自発的活動支援事業	13	14. 生活支援通所事業	35
3. 共同募金配分事業		15. 高齢者生活福祉センター事業	36
（1）福祉まつり開催事業	14	16. その他事業	
（2）福祉教育推進事業	14	（1）老人クラブ連合会	36
（3）地域活動支援事業	16	（2）共同募金事業	38
（4）サロン活動推進事業	16	（3）子育てボランティアみみちゃん	40
（5）広報啓発事業	18	（4）フードバンク事業	42
（6）社会福祉大会開催事業	18	（5）職員の資質向上	42
（7）安心安全推進事業	19		
（8）まるみプラン推進事業	20		
4. 生活福祉資金貸付事業	22		
5. 福祉サービス利用援助事業	22		
6. 法人成年後見等事業	24		
7. 生計困難者に対する相談支援事業	25		

事業報告の概要

少子高齢化や核家族化は益々進行し、世の中全体が目に見えて縮小している中、地域のつながりは更に希薄化し、社会的な孤立や経済的困窮、虐待など深刻な生活課題が社会問題として表面化しています。

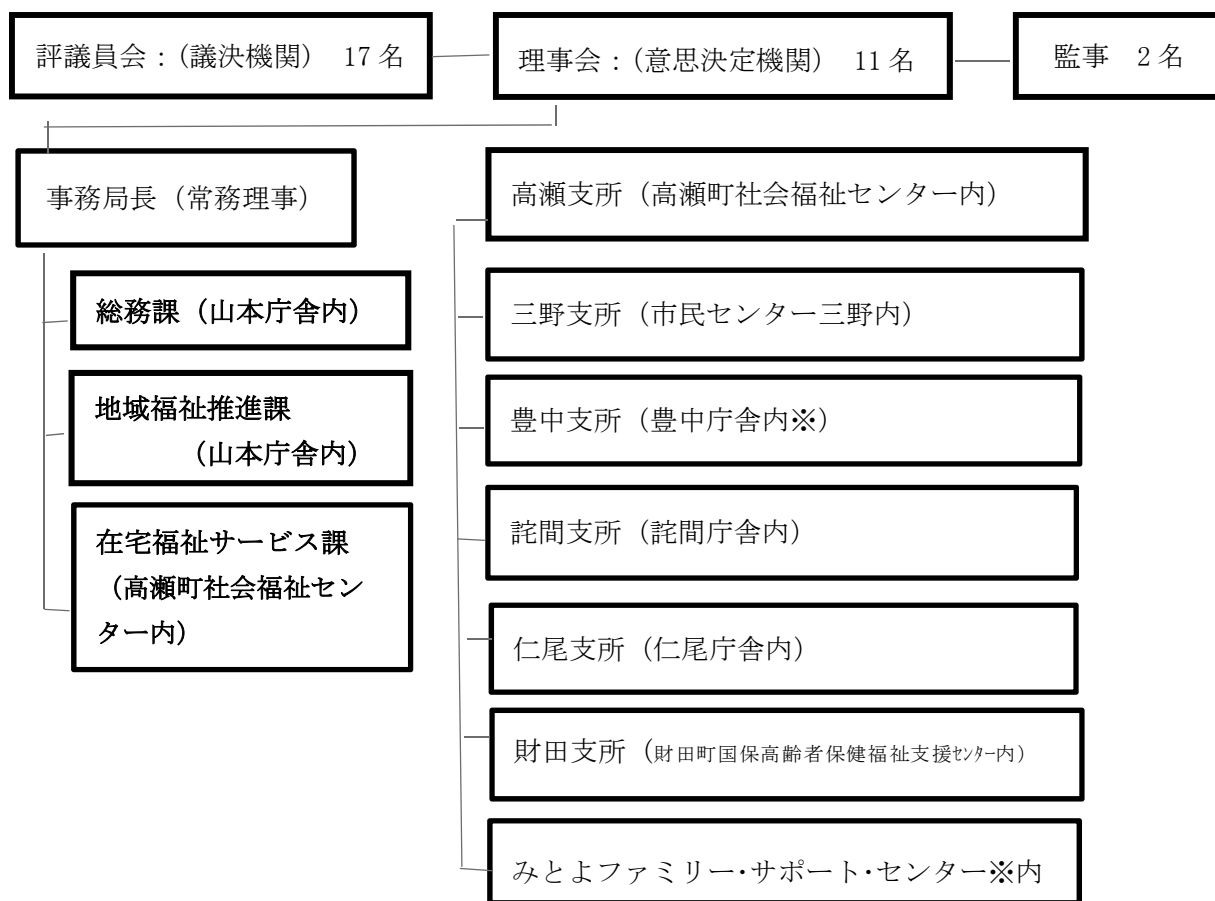
このような中、三豊市社会福祉協議協議会は、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を使命とし、地区社協、民生委員・児童委員、行政をはじめ、社会福祉施設、ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人など様々な団体・組織と連携しながら、平成27年度から平成30年度を期間とする「第2期三豊市地域福祉活動計画(まるみプラン)」の推進を核として事業を実施しました。

また、社会福祉法の改正に伴い法人運営体制を明確化し、新しい理事会・評議員会の体制下で、地域福祉の向上に努めました。

以下、平成29年度の具体的な事業実績等について報告します。

組織図・職員状況等

(平成30年3月31日現在)



【職員体系】 ※ヘルパー、宿直員等除く

事務系	・事務局長(嘱託)1	・正職員 13	・有期雇用職員 12	・嘱託 1	
介護系	・正職員 15	・有期雇用職員 5	・嘱託 2		合計 49名
その他	・市より(交流・派遣) 2名				

1. 法人運営事業

事業費 117,432,955円

(内：会費9,065,000円、経常経費補助金103,441,827円)

① 理事会・評議員会等の開催

【理事会】

開 催 日	議 事 等
第52回 平成29年 6月 2日 出席 理事12名 監事 1名 欠席 理事 4名 監事 1名	報告第1号 会長専決事項について 議案第1号 平成28年度事業報告の認定について 議案第2号 平成28年度決算の認定について 議案第3号 諸規程等の廃止及び制定並びに一部改正について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の廃止 ・役員の報酬に関する規程の制定 ・評議員の報酬に関する規程の制定 ・評議員選任・解任委員会委員の報酬に関する規程の制定 ・経理規程の一部改正 ・居宅介護支援事業所運営規程の一部改正 ・訪問介護事業所（指定訪問介護）運営規程の一部改正 議案第4号 役員候補者の選定について 議案第5号 評議員候補者の推薦について 議案第6号 第43回評議員会（定時評議員会）の招集について
第53回 平成29年 6月22日 出席 理事9名・監事2名 欠席 理事 2名	議案第1号 会長、副会長、常務理事の選定について 議案第2号 評議員選任・解任委員会委員の選任について
第54回 平成29年 9月13日 出席 理事10名 監事 2名 欠員 理事 1名	報告第1号 第三者委員の委嘱について 報告第2号 会長専決事項について 報告第3号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 役員候補者の選定について 議案第2号 非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正について 議案第3号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第4号 平成29年度第1次資金収支補正予算について その他 三豊市社会福祉協議会業務概要について
第55回 平成29年12月15日 出席 理事 9名 監事 2名 欠席 理事 2名	議案第1号 役員候補者の選定について 議案第2号 平成29年度第2次資金収支補正予算について 議案第3号 定款の一部変更について 議案第4号 非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正について 議案第5号 職員 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 議案第6号 第45回評議員会の招集について

第 5 6 回 平成 3 0 年 3 月 6 日 出席 理事 7 名 監事 2 名 欠席 理事 4 名	報告第 1 号 平成 29 年度社会福祉法人指導監査の結果について 報告第 2 号 会長専決事項について 報告第 3 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第 2 号 評議員候補者の推薦について 議案第 3 号 平成 29 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 4 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 5 号 平成 30 年度事業計画について 議案第 6 号 平成 30 年度資金収支予算について 議案第 7 号 諸規程等の一部改正について ・職員給与支給規程の一部改正 ・嘱託職員就業規則の一部改正 ・有期雇用職員就業規則の一部改正 ・非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正 ・役員の報酬に関する規程の一部改正 ・評議員の報酬に関する規程の一部改正 ・評議員選任・解任委員会委員の報酬に関する規程の一部改正 議案第 8 号 第 46 回評議員会の招集について
--	--

【評議員会】

開 催 日	議 事 等
第 43 回 平成 2 9 年 6 月 2 2 日 出席 評議員 1 7 名 欠席 なし	議案第 1 号 平成 28 年度事業報告の承認について 議案第 2 号 平成 28 年度決算の承認について 議案第 3 号 諸規程等の廃止及び制定並びに一部改正について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の廃止 ・役員の報酬に関する規程の制定 ・評議員の報酬に関する規程の制定 ・経理規程の一部改正 ・居宅介護支援事業所運営規程の一部改正 ・訪問介護事業所（指定訪問介護）運営規程の一部改正 議案第 4 号 役員の選任について
第 4 4 回 平成 2 9 年 9 月 2 7 日 出席 評議員 1 5 名 欠席 評議員 2 名	議案第 1 号 理事の選任について 議案第 2 号 非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正について 議案第 3 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 4 号 平成 29 年度第 1 次資金収支補正予算について その他 三豊市社会福祉協議会業務概要について
第 4 5 回 平成 2 9 年 1 2 月 2 6 日 出席 評議員 1 6 名 欠席 評議員 1 名	議案第 1 号 役員の選任について 議案第 2 号 平成 29 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 定款の一部変更について

	議案第 4 号 非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正について 議案第 5 号 職員 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
第 4 6 回 平成 3 0 年 3 月 1 5 日 出席 評議員 1 4 名 欠席 評議員 3 名	報告第 1 号 平成 29 年度社会福祉法人指導監査の結果について 議案第 1 号 理事の選任について 議案第 2 号 平成 29 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 4 号 平成 30 年度事業計画について 議案第 5 号 平成 30 年度資金収支予算について 議案第 6 号 諸規程等の一部改正について ・職員給与支給規程の一部改正 ・嘱託職員就業規則の一部改正 ・有期雇用職員就業規則の一部改正 ・非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正 ・役員の報酬に関する規程の一部改正 ・評議員の報酬に関する規程の一部改正

【監事会】

開 催 日	議 事 等
平成 2 9 年 5 月 2 5 日 出席 会長 監事 2 名	平成 28 年度事業報告について 平成 28 年度決算について

【評議員選任・解任委員会】

開 催 日	議 事 等
第 2 回 平成 2 9 年 6 月 6 日 出席 委員 4 名	評議員の選任について
第 3 回 平成 3 0 年 3 月 6 日 出席 委員 4 名	評議員の選任について

② 役職員等研修会

役職員等が、社協は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることが重要であることから、県社協等が開催する研修会等に参加した。

開 催 日	内 容 等
平成 2 9 年 7 月 2 2 日 ～ 2 3 日 参加者 会長 職員 3 名 (八幡浜市)	第 15 回四国地域福祉セミナー in 八幡浜

平成29年10月20日 参加 会長外8名 (サンポート高松)	第64回香川県社会福祉大会 表彰(本会関係) 社会福祉事業奉仕者 5名 社会福祉事業奉仕団体 1団体
平成29年12月15日 出席 理事 9名 監事 2名	「福岡県朝倉市災害ボランティアセンター支援活動について」の報告
平成29年12月26日 出席 評議員16名	「福岡県朝倉市災害ボランティアセンター支援活動について」の報告

③ 衛生委員会

職員の衛生教育、健康相談、健康保持のため衛生委員会を開催した。

開催日	内 容 等
平成29年 6月23日 出席 6人 (高瀬支所)	1. 熱中症について 2. 食中毒について
平成29年 9月22日 出席 8人 (高瀬支所)	1. 肥満について 2. ストレスチェックの進行方法について
平成29年12月19日 出席 7人 (高瀬支所)	1. サプリメントと薬の飲み合わせについて 2. インフルエンザ・風邪の予防について
平成30年 3月29日 出席 7人 (高瀬支所)	1. 健康診断結果について 2. 腰痛疾患等との長い付き合い方について

④ 自主財源の確保

(ア) 会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等にお願いした。

- ・一般会費(一口 500円)

平成29年度	17,948戸	8,974,000円
(平成28年度)	18,067戸	9,033,500円)
- ・賛助会費(一口 1,000円)

平成29年度	12件	91,000円
(平成28年度)	14件	111,000円)

<平成29年度内訳>

地 区	一般会費(一口 500円)		賛助会費(一口 1,000円)	
	戸数(戸)	実績額(円)	会員数(件)	実績額(円)
高 瀬	3,969	1,984,500	2	12,000
山 本	1,856	928,000	0	0
三 野	2,464	1,232,000	1	5,000
豊 中	2,812	1,406,000	3	30,000

地 区	一般会費（一口 500 円）		賛助会費（一口 1,000 円）	
	戸数（戸）	実績額（円）	会員数（件）	実績額（円）
詫 間	4, 0 6 9	2, 0 3 4, 5 0 0	2	2 0, 0 0 0
仁 尾	1, 6 8 6	8 4 3, 0 0 0	2	1 2, 0 0 0
財 田	1, 0 9 2	5 4 6, 0 0 0	0	0
市 外	0	0	2	1 2, 0 0 0
合 計	1 7, 9 4 8	8, 9 7 4, 0 0 0	1 2	9 1, 0 0 0

※平成 29 年度一般会費と賛助会費合計 9, 0 6 5, 0 0 0 円

（イ）社会福祉事業への香典返し等（寄附金・物品寄附）

＜平成 2 9 年度内訳＞

寄附の内容	件 数	金 額（円）
寄 附 金	6 7（7 3）	5, 0 2 7, 7 1 8（5, 3 0 0, 7 8 5）
物品寄附（車椅子等）	2（ 3）	1 2 0, 0 0 0（ 1 8 7, 0 0 0）
合 計	6 9（7 6）	5, 1 4 7, 7 1 8（5, 4 8 7, 7 8 5）

※（ ）内は前年度実績。

※寄附金については、寄附者の意に沿うように「地区社協」に対し活動助成を行う等、地域福祉のために活用させていただいた。

⑤ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金の交付行い、活動を支援した。

＜各地区社協の状況＞ 2 4 地区社協 平成 29 年度助成金総額 5, 6 2 7, 0 0 0 円

地区名	地区社協名	設立年月	主な活動内容
高 瀬	勝間	S53. 4	元気会、男性クッキング、米寿・百歳以上訪問、施設慰問
	上高瀬	S46. 4	元気会、高齢者訪問、男性クッキング、福祉用器具設置
	二ノ宮	S53. 4	元気会、高齢者訪問、小学校餅つき大会、福祉用器具設置
	比地二	S53. 4	元気会、高齢者訪問、男性クッキング、福祉用器具設置
	麻	S47. 4	元気会、男性クッキング 高齢者訪問、防災活動協力
山 本	辻	H19. 3	子育てサロン、ぼだい山登山 防災研修、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	河内	H19. 3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、料理教室、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	財田大野	H19. 3	三世代交流活動、男性料理教室、サロン交流会、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等

	神田	H19. 3	神田の歴史・文化をたずねて、立石山登山、男性料理講習、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
三 野	下高瀬	H18. 4	講演会、交流事業・サロン支援・防災・見守り活動他
	吉津	H18. 4	こども・高齢者対象交流事業、サロン支援
	大見	H18. 4	講演会、交流事業・サロン支援・防災・見守り活動
豊 中	桑山	H17. 12	お年寄り花見会、高齢者在宅訪問、施設訪問、第8回芋炊きウォーキング等
	比地大	H17. 8	安全パトロール、独居高齢者等への給食サービス・訪問交流、児童と高齢者の交流、サロン支援、第8回芋炊きウォーキング等
	笠田	H18. 2	とよなか荘慰問、心の健康に関する講演会、一人暮らし高齢者訪問、第8回芋炊きウォーキング等
	上高野	H18. 5	配食サービス、福祉推進月例会、救命救急講習会、第8回芋炊きウォーキング等
	本山	H17. 8	福祉運動会、友愛訪問、高齢者訪問、第8回芋炊きウォーキング等
詫 間	詫間	S42. 3	たくま健康福祉まつり、研修会、敬老会他
	松崎	H21. 1	たくま健康福祉まつり、サロン支援、ふれあい会食、見守り活動、健康ウォーキング他
	大浜	S42. 3	たくま健康福祉まつり、防災訓練、敬老会他
	箱浦	H21. 4	たくま健康福祉まつり、防災講演会、海岸清掃、敬老会他
	栗島・志々島	S42. 3	たくま健康福祉まつり、海岸清掃、敬老会他
仁 尾	仁尾	H18. 6	地域の清掃活動 防災訓練、敬老会、福祉ポスター、見守り
財 田	財田	H18. 11	宝山湖ウォーキング、パフォーマンスシアター

2. 地域福祉事業

事業費 5,964,300円 (内：市受託金 432,259円)

(1) 地域福祉活動推進事業

事業費 1,386,711円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員を設置している地区社会福祉協議会に対し、要綱に基づき助成金を交付するものである。

平成29年度は、高瀬・三野・豊中より9地区社協から申請があり助成金を交付した。

＜助成状況＞

地区名（設置地区社協）	人数(人)	助成額（円）	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	地域の見守り
二ノ宮地区社協	7	14,000	元気会やサロンの補助等
上高瀬地区社協	12	24,000	
勝間地区社協	11	22,000	
比地二地区社協	6	12,000	
三野地区			
大見地区社協	7	14,000	地域の見守り
吉津地区社協	5	10,000	サロンの補助等
下高瀬地区社協	5	10,000	
豊中地区			
上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロン補助等
計	104	208,000	

② こんにちはコール

ひとり暮らしの高齢者等に、電話訪問員（ボランティア）が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的として実施した。

○実施内容

月2回（第2・4水曜）ボランティアゆうゆうの会により本所（山本）にて実施

月2回（第1・2水曜）くらしの相談時、民生委員・児童委員により財田にて実施

○平成29年度利用者数 ゆうゆうの会13人、財田地区7人 計20人

③ 緊急医療情報キット（まるみちゃん安心キット）の設置

緊急医療情報キットの設置は、ひとり暮らしの高齢者や障害者などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行なうため、かかりつけの病院・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器（キット）に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的として実施している。

民生委員・児童委員の協力により設置及び年1回（年度始め）の更新を行った。

＜キット設置状況＞

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	計
区分	1	4	4	5	6	25	8	8	60
	2	2	0	0	0	7	2	3	14
	3	0	2	1	2	3	0	0	8
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0

計	6	6	6	8	35	10	11	82
累 計	208	54	189	101	305	78	50	

※ 平成 29 年度末設置世帯 685 世帯 利用者 812 人

【区分】

1. 65 歳以上の者の独居世帯
2. 65 歳以上の者のみで構成されている世帯（高齢者世帯）
3. 65 歳以上の者が含まれる世帯（高齢者同居世帯）
4. 障害者の独居世帯
5. その他

④ 移動支援車輛

平成 29 年度 利用件数… 2 件（平成 29 年 8 月末事業終了）

⑤ 福祉器具貸出

車椅子：平成 29 年度末現在 103 台所有

市民への貸出可能台数 75 台、施設等常設 18 台、デイサービス専用 10 台

＜車椅子貸出件数＞ (件)

高瀬地区	71	詫間地区	15
山本地区	12	仁尾地区	10
三野地区	26	財田地区	22
豊中地区	26	合計	182

・その他、高齢者疑似体験セット、ハンドベル等の貸出を実施した。

⑥ チャイルドシート・ジュニアシート貸出 (H29.8～実施)

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等（里帰り・帰省時）に係る経済的な負担軽減を図り、地域における乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に貸し出しをした。平成 29 年 8 月より実施し、広報「みとよ」や社協だより「しちふく」に情報を掲載し、地域の方への広報活動に努めた。

8 か月が経過し、里帰りや帰省時の家族に活用された。

＜月別利用者数＞ (人)

8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
10	4	5	2	7	1	2	3	34

⑦ 実習生受入事業

平成 29 年度は実習生の受け入れはなかったが、今後も積極的に実習生の受け入れができるよう、社会福祉士相談援助実習指導者講習会の研修を職員 1 人が受講し、指導体制を整えた。

指導者講習会	内容	開催場所
29 年 10 月 7 日～8 日	社会福祉士相談援助実習指導者講習会	岡山県総合福祉会館

(2) 福祉啓発事業 事業費 202,079円

① 福祉作文

社会福祉の啓発・向上のために、三豊市内の小・中学校の児童・生徒が、福祉の大切さを自覚し、心豊かな人になることを願って福祉作文を募集した。

入賞作品は、三豊市社会福祉大会で表彰し、最優秀作品を披露した。

<小学生の部> (人)

総応募数	307	最優秀	1
出点数	36	優秀	4
		入選	11

<中学生の部> (人)

総応募数	181	最優秀	1
出点数	14	優秀	2
		入選	5

② ファミリー写真コンテスト

ファミリー写真コンテストへの参加を通じて保護者や家族等が子どもとの絆を深めるとともにファミサポ会員出張登録会を実施し、ファミサポのPRや登録の機会となった。また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

66件の応募があり、みとよ健康福祉まつりのファミサポブースに展示し、優秀作品に対して本会会長表彰を行った。

<みとよ健康福祉まつり>

開催日	開催場所	応募数	内訳(人)
平成29年10月14日	三豊市総合体育館	66	最優秀賞 1
			優秀賞 2
			入選 17
			佳作 45
			選外 1

(3) うらしまふれあい通所事業 (平成29年9月末事業終了)

事業費 417,330円

在宅で生活する高齢者に仲間づくりの場を提供し、閉じこもり予防・食生活の改善・健康チェック・レクリエーション等のサービスを定期的に開催した。

<開催状況>

対象地域	開催回数	延利用者数	延ボランティア数(役割)
詫間地区(2班)	11	133	11(生活指導員)
志々島地区(1班)	6	48	18(調理)

(4) 相談事業 事業費 1,649,985円

地域住民の生活課題の解決に向け、日常生活に関する悩みや問題に対する「くらしの相談」及び法律に関する問題に対する「法律相談」を開催した。

① くらしの相談

生活課題を早期発見することを目的として、民生委員・児童委員が市民の相談に応じた。また、必要に応じて各支援機関や専門員と連絡を図った。

＜相談状況等＞ 相談：各支所毎月２回（第１・３水曜日）開催

地区	相談件数	順位	相談内容
高瀬	5	1	苦情（土地の境界等隣人関係等）
山本	9	2	家族（家族間の人間関係等）
三野	8	3	精神・保健（職場・疾病等）
豊中	1	4	年金、住宅、財産、事故
詫間	4		高齢者福祉、子育て
仁尾	2		障害児（者）福祉
財田	1		健康・保健衛生
計	30		人権・法律

② 法律相談

香川弁護士会と連携し、地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に法律の知識を要するものについて、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けている。相談は毎月３回（第１・２・３火曜日）開催した。

※高瀬は毎月、その他の支所は３ヵ月に１回

＜相談状況等＞

地区	相談件数	順位	相談内容
高瀬	55	1	財産（相続・遺産分与等）
山本	18	2	人権・法律（土地の境界・騒音等）
三野	18	3	家族（遺言書・墓地管理・借金等）
豊中	19	4	結婚・離婚
詫間	18	5	住宅
仁尾	18	6	事故
財田	17	7	医療
計	163	8	生計、年金、職業、苦情

（５）福祉バス管理運営事業

事業費 1,703,512円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び社会福祉活動への住民の参加のための援助を目的として福祉バスを運行した。

＜月別運行状況＞ 平成30年3月末現在 利用登録団体：92団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	244	72	166	87	19	123	166	357	86	20	62	56	1,458
運行回数	9	4	8	4	1	7	9	18	4	1	3	3	71

★福祉バス（平成 17 年 1 月登録：乗車定員 28 人 ※安全運行のため 8 月より 25 人）

（６）ボランティア活動推進事業 事業費 1,924 円

主にイベント等のニーズに対するマッチングを行った。当初予定していた各種講座開催については次年度開催予定である。

＜ボランティア活動保険加入状況＞

※（ ）内は昨年度

保険の種類	加入団体数・件数	加入者数(人)
ボランティア活動保険	100 団体 (95)	2,027 (1,848)
	個人加入	20 (18)
行事用保険	30 件 (40)	4,410 (3,775)

※三野支所に設置していたボランティアセンターは、支所移転に伴い平成 30 年 1 月 1 日より本所に移転している。

（７）団体助成事業 事業費 134,000 円

小さな親切運動高瀬支部、山本支部に助成した。

子どもたちの健全育成、あいさつ運動、環境美化活動等に活用された。

（８）認知症サポーター養成講座事業 （三豊市受託事業）

事業費 39,600 円 （内：市受託金 39,600 円）

地域で認知症についての正しい理解や接し方についての知識を深めてもらうための取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を市の委託を受け開催した。

＜養成講座＞

(人)

回数	開催日	受講先	受講者数 (サポーター数)
1	平成 29 年 4 月 18 日	高瀬地区民協・福祉協力員	69
2	平成 29 年 4 月 24 日	グーグースマイル（豊中町公民館）	14
3	平成 29 年 6 月 14 日	豊中地区民生委員・児童委員協議会	21
4	平成 29 年 6 月 20 日	比地小学校 6 年生	29
5	平成 29 年 7 月 19 日	JA 詫間地域女性部	27
6	平成 29 年 10 月 4 日	株式会社マルナカ	6
7	平成 29 年 11 月 30 日	吉津小学校 5 年生	22
8	平成 30 年 2 月 6 日	まちづくり推進隊三野	32
9	平成 30 年 2 月 15 日	大見小学校 5 年生	21
10	平成 30 年 2 月 23 日	勝間小学校 5 年生	20
11	平成 30 年 3 月 13 日	おしゃべりサロン	24
・企業等：1 回 ・団体、グループ：6 回 ・小学校：4 回（4 校）			合計 285

市包括支援センターと連携して、認知症サポーター養成講座を積極的に P R し、認

知症徘徊SOSネットワークの提携も増えたことから企業等での開催も行った。

小学校では、地域のキャラバンメイトにも参加いただき、児童がそれぞれ認知症に係る寸劇をした。従来からの内容も新たに見直すことで、より一層理解を高めることができた。なお、市主催のキャラバンメイトの会に参加し、認知症を地域で支えるための協議を行っている。また、県主催のキャラバンメイト養成講座にて実践事例発表を行うと共に、本会からも3人の職員が養成講座を受講した。三豊市立西香川病院（認知症疾患医療センター）との連携を行い、三観地区認知症を学び支える会では各専門職との連携を深めるとともに、認知症啓発イベントでは寸劇を交えて認知症の理解促進を行った。

（９）障害児長期休暇中預り事業（三豊市受託事業）

事業費 406,486円

三観地域自立支援協議会や地域のボランティア等の協力を得て、夏休み期間中、障害児の預りサービス（通称：みとよきらっと☆くらぶ）を開催した。10日間の開催を予定していたが、8月7日は台風接近に伴う警報発令中のため中止となり、9日間の開催となった。

＜開催状況＞

開催場所：山本町老人ふれあいプラザ

開催日	当日利用障害児(人)	支援者・協力者(人)
7月28日(金)	8	13
7月31日(月)	10	18
8月1日(火)	7	13
8月2日(水)	8	14
8月3日(木)	8	16
8月4日(金)	10	15
8月8日(火)	7	12
8月9日(水)	8	11
8月10日(木)	7	16
合 計	73	128

※利用料：500円/日 預かり時間：9時30分～15時30分

＜活動状況等＞

日中活動として、毎日のプール遊びの他、腹話術の鑑賞や、松崎うどん同好会の協力でうどん打ち体験と試食も行った。また、今年度初の試みでクッキング（ゼリーのトッピング）をして、おやつ時間に皆でおいしくいただいた。

＜利用者アンケートより：抜粋＞

- ・子どもが、きらっと☆くらぶを毎年楽しみにしている。
- ・いろいろな遊びができ、子どもが喜んでおり、よい思い出になった。
- ・たくさんのスタッフに見守られ、本人も家族も喜んでいる。来年も利用したい。

（10）自発的活動支援事業（三豊市受託事業）

事業費 22,673円

障害者(児)が自立した生活を営むことができるよう、障害者(児)やその家族、地域

住民等による地域における自発的な取り組みを支援し、共生社会の実現を図ることを目的に、ボランティア養成のための研修会を開催した。

この研修会は、障害児長期休暇中預り事業(みとよきらっと☆くらぶ)に参加したボランティアに対するフォローアップ研修も兼ねており、また、今後地域での障害者(児)支援を充実させていくためにも、関係機関や地域のボランティアが集い、共に学び合う機会にもなっている。

開催日・開催場所	テーマ・講師	参加人数
平成 30 年 3 月 14 日 山本町保健センター	「共に生きていける社会を目指して」 香川県立香川西部養護学校 教諭 宮本 覚 氏	55

3. 共同募金配分事業

事業費 12,439,283 円 (内：共同募金配分金 10,287,910 円)

(1) 福祉まつり開催事業

事業費 887,795 円

地域住民の福祉と健康について理解を深め、地域福祉活動への参加促進を図るため、三豊市及び関係団体等と合同で開催した。

<みとよ健康福祉まつり>

開催日	主な内容	開催場所
平成 29 年 10 月 14 日	・屋外ステージイベント ・屋外イベント(飲食販売・手作り作品等販売・各種体験・福祉団体等バザー・その他) ・屋内イベント(ファミリーサポートセンターの事業紹介・出張登録会・健康イベント・子育て支援や体験等・写真コンテスト作品展示)	三豊市総合体育館及び周辺

(2) 福祉教育推進事業

事業費 1,752,791 円

① 福祉普及推進校(園)指定事業

三豊市内の小学校及び中学校(以下「学校」という。)の児童、生徒と、幼稚園園児を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とした取り組みに対し、要綱に基づいて学校・幼稚園へ助成金を交付した。

<助成状況>

区分	総数	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	18 園	18 園	540,000	未就学児との交流、各種団体との交流(もちつき大会、お茶会、夏祭り)等

小学校	20 校	19 校	950, 000	地域でのもちつき大会、福祉施設訪問、清掃活動等
中学校	7 校	5 校	190, 000	施設訪問、ふれあい看護体験等
合計	18 園 27 校	18 園 24 校	1, 680, 000	

② 夏休みボランティア体験の実施（市内 3 高校・7 中学校の生徒対象）

中学生・高校生を対象に夏休みを利用し本人の意思により選択したコースでの福祉体験を実施し、社会福祉やボランティアの理解と関心を高めた。

○受入協力施設：10 施設

A：本会訪問介護事業所 B：デイサービスセンターくにち・とよなか荘老人デイサービスセンター・白寿の杜デイケアセンター C：障害者支援施設みとよ荘
D：NPO 法人チャイルドハウスみとよ・NPO 法人青空クラブ・NPO 法人すくすく・NPO 法人たけのこキッズ E：みとよ音声訳の会「ぽかぽか」

<開催状況>

(人)

	体験名称	(実施箇所) 延日数	定員	申込数	参加 延人数
A	ヘルパーさん体験	(1 ヵ所) 1 日	4	22	4
B	高齢者デイサービス体験	(3 ヵ所) 3 日	15	57	22
C	障害者みとよ荘体験	(1 ヵ所) 1 日	10	38	29
D	放課後児童クラブ体験	(4 ヵ所) 8 日	44	194	52
E	音声訳「声の広報」体験	(1 ヵ所) 1 日	15	43	15
合計 (5 コース)		(10 ヵ所) 14 日	88	354	122

③ 福祉体験学習への支援（市内小学校の主に 5・6 年生対象）

子どもたちへの福祉教育の一環として、市内の小学校 5・6 年生等を対象に福祉体験を実施した。実施の際には、担当教員と事前打ち合わせを行い、体験を通じてのねらいや授業の進め方を確認するとともに、福祉施設への訪問等についてのアドバイスを行った。また、未体験項目についても説明を行い今後の取り組みを促した。

<体験内容>

(人)

体験内容	実施小学校	延回数	参加延人数
高齢者等疑似体験	麻、勝間、比地、下高瀬 2 回、吉津、大見 2 回、笠田	9	2 0 6
車いす体験	麻、二ノ宮、比地、下高瀬 2 回、比地大、笠田、本山、財田	9	1 8 1
視覚障害体験 (アイマスク体験含む)	麻、二ノ宮、比地、本山、財田	5	1 0 7
認知症サポーター養成講座	勝間、比地、吉津、大見	4	6 9
合計	1 1 校 (延 1 3 校)	2 7	5 6 3

※バリアフリーやユニバーサルデザインについての話を各体験の中で実施。高齢者疑似体験セットや車イス、視覚障害対応オセロなどの教材の説明と貸出等を行った。

(3) 地域活動支援事業

事業費 266,800円

○高齢者声かけ見守り活動助成事業

地域において、一人暮らしの方、高齢者のみの世帯等「気になる（心配）人」が増えていく中、自治会等の小地域を基盤として、住民の参加と協力により、同じ地域のなかで援護が必要な方々の生活を見守り、安心して暮らせる地域づくりを目的とする事業を実施する団体・グループに対し、助成金を交付し、活動を支援した。

＜助成事業内容＞

助成事業内容	団体数	助成額合計（円）
高齢者声かけ見守り活動	8	265,000

(4) サロン活動推進事業

事業費 3,868,203円

○ふれあい・いきいきサロン活動

「地域の拠点に、住民である当事者とボランティアとが協働して企画をし、内容を決め共に運営していく、楽しい仲間づくりの活動」という定義により、高齢者だけでなく、障害者や子育て中の親、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場（ふれあい・いきいきサロン）に対して助成金を交付し、活動を支援した。

＜高齢者サロン＞

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	41	+1	805	7,777	741,000
山本	17	-4	291	4,396	367,000
三野	11	-1	164	2,298	211,000
豊中	47	-1	640	9,443	892,000
詫間	22	+1	438	4,846	402,000
仁尾	17	0	203	3,649	317,000
財田	5	0	110	817	90,000
計	160	-4	2,651	33,226	3,020,000

＜子育てサロン＞

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	0	11	129	25,000
豊中	2	0	89	1,911	80,000

＜障害者サロン＞

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	0	12	353	25,000

三野	1	0	31	307	40,000
詫間	1	0	12	290	25,000

<毎日型サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	144	6,045	100,000
豊中	1	0	309	2,647	100,000
財田	1	0	46 ※	1,910	100,000

※平成 30 年 2 月から週 3 回実施

○サロン活動推進者研修会の開催状況

地区名	内 容
高瀬	平成 29 年 12 月 8 日 みとよ未来創造館 「口腔機能向上及び口腔ケアについて」 講師：歯科衛生士 佐野伸枝 氏 「心理テストでサロンを盛り上げよう」 講師：三豊市社協 真鍋真依子 氏 参加者 43 人／参加サロン数 28 サロン
山本	平成 30 年 3 月 2 日 山本町保健センター 「ヤクルト ウン知育教室」 講師：香川ヤクルト販売株式会社 企画・CS 推進室 管理栄養士 長尾志津代 氏 参加者 32 人／参加サロン数 16 サロン
三野	平成 29 年 9 月 12 日 三野町社会福祉センター 「交通事故にあわないために」 講師：香川県交通安全教育推進隊 林・小川 氏 参加者 22 人／参加サロン数 8 サロン
豊中	平成 30 年 3 月 19 日 市民交流センター 「サロンについてのグループワーク」 社協職員が司会・進行役（計 11 人） 参加者 51 人／参加サロン数 36 サロン
詫間	平成 29 年 9 月 27 日 詫間町福祉センター 「悪質商法～こんな手口にくれぐれもご用心～」 講師：香川県西讃県民センター 消費生活相談員 藤岡喜恵 氏 参加者 32 人／参加サロン数 20 サロン
仁尾	平成 30 年 3 月 23 日 市民センター仁尾 「お口の健口づくりから体の健康」 講師：歯科衛生士 佐野伸枝 氏 参加者 36 人／参加サロン数 15 サロン
財田	平成 29 年 11 月 28 日 財田町たからだの里 パークゴルフ場 「パークゴルフ」 参加者 29 人／参加サロン数 5 サロン

(5) 広報啓発事業

事業費 1,606,412円

○広報紙 みとよ社協だより「しちふく」の発行・ホームページの充実

本会事業等への理解を深めるとともに福祉活動の啓発やサロン活動等の地域への情報発信を目的として広報紙を年4回発行した。

ホームページについて、本会及びファミリーサポートセンターからの情報発信、新着情報、ブログ等内容を随時更新した。

＜「しちふく」の発行状況＞

発行月	ページ数	主 な 内 容
平成 29 年 4 月	12P	ふれあいいきいきサロン助成金案内、ボランティア保険案内 他
7 月	12P	28 年度事業報告・決算、29 年度事業計画・予算 他
10 月	12P	夏休みボランティア体験、みとよきらっと☆くらぶ、共同募金、みとよ健康福祉まつり・社会福祉大会お知らせ 他
平成 30 年 1 月	12P	みとよ健康福祉まつり・社会福祉大会報告、福祉作文、ファミリー写真コンテスト 他

毎号掲載：七福通信(各地区の情報)、キラリ人☆見つけた(ボランティア団体・個人紹介) サロンへようこそ(地域のサロン活動の紹介)等

(6) 社会福祉大会開催事業

事業費 873,339円

「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉のまちづくり・人づくり・ネットワークづくり」を実現するため、市内の社会福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の推進に取り組む決意を新たにするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々の顕彰を行うため、本会、三豊市共同募金委員会、三豊市身体障害者協会、三豊市母子福祉連合会の共催で開催した。

- ① 平成29年7月18日 平成29年度会長表彰候補者の推薦について（依頼）
・各種団体へ推薦依頼
- ② 平成29年9月13日 第12回三豊市社会福祉大会実行委員会開催
・委員長及び副委員長の互選について
・受賞者の選考について・大会資料等について

＜第12回三豊市社会福祉大会の概要＞

来場者数:約250人

開催日	主な内容	場 所
平成29年11月25日	・式典 (表彰) - 社会福祉事業奉仕者 6名 - 社会福祉事業奉仕団体 3団体 - 優良地区社協・施設・団体 14団体	みとよ未来創造館

	(感謝) 社会福祉事業協助者 51名 社会福祉事業協助団体 14団体 (福祉作文受賞者) 小学生の部 16名 中学生の部 8名 ・記念講演 演題「個の自立～ひとりひとりが輝いて～」 講師：弁護士 住田裕子 氏	
--	--	--

(7) 安心安全推進事業

事業費 1,592,959円

① 研修及び訓練

平成29年3月28日に三豊市との災害時におけるボランティアセンターの設置運営協定締結を踏まえ、前年度に引き続き災害ボランティアセンターを運営する際に重要な役割であるボランティアと被災者をつなぐマッチング研修を行った。

なお、広域災害が発災した場合、センター業務では近隣社協からの応援職員を含めた運営が想定されることから、同じ圏域である三豊・観音寺市両社協での合同訓練を通じて各役割について共通認識を図り、訓練内容の振り返りを行いながら運営方法の検証と課題等の整理を行うことを目的に開催した。

<開催状況>

(人)

開催日	内容	参加人数
平成30年 1月13日(土)	平成29年度災害ボランティアセンターマッチング研修 場所：市役所山本庁舎 講師：ピースボート災害ボランティアセンター 内容： 「災害ボランティアセンター体験カードゲーム」を用いた訓練を実施	40
平成30年 2月17日(土)	三観合同災害ボランティアセンター運営シミュレーション訓練 場所：ハイスタッフホール（観音寺市民会館） 講師：ピースボート災害ボランティアセンター 内容： ①災害ボランティアセンターの役割について振り返り ②災害ボランティアセンターの各班の役割について模擬ブースを回って確認 ③グループでニーズ受付、ボランティア登録、資材班、オリエンテーション・マッチング、活動報告についての訓練実施 ① グループで振り返り作業、意見交換、講師総評	71 (内、三豊市28)

② 車輛整備等

軽四自動車貨物トラックタイプ（ダイハツハイゼットトラック4WD）平成29年9月27日購入

災害ボランティアセンター設置の際に、資材運搬用車輛が必要不可欠であるため整備した。

③ システム整備

職員安否確認等システム（富士通）

大規模災害等が発災した際に、電話回線での連絡が困難な状況が想定されることから、インターネットを利用したメール斉配信を使用した職員の安否確認のシステムを利用している。利用に際しては県社協が一括契約者となっている。

平成 30 年 3 月 5 日、平成 29 年度分利用負担金納入

なお、本システムは平成 29 年度末にて契約期間終了となるため、次年度は別のシステムとしてグーグルを用いたシステムを検討予定である。

④ 研修会、関係機関の会議等への出席

開催日	会議名	開催場所
平成 29 年 10 月 11 日	香川県災害福祉支援ネットワーク構築における地域リーダー研修	香川県社会福祉総合センター
平成 29 年 10 月 30 日	地域の災害支援マップづくり研修会	レクザムホール
平成 29 年 12 月 12 日	災害時安否確認システム構築研修会	福) すみれ福祉会 特養おりいぶ荘
平成 30 年 3 月 2 日	平成 29 年度災害対応に関する連絡会議	香川県社会福祉総合センター

⑤ その他

平成 29 年 9 月 16 日～23 日まで、福岡県朝倉市災害ボランティアセンター運営支援として朝倉市災害ボランティアセンター杷木サテライトにて職員 1 人従事。その活動報告として平成 29 年 12 月 15 日、26 日の理事会及び評議員会終了後と、平成 30 年 1 月 24 日の「かがわコミュニティソーシャルワーク実践研究会勉強会 in 大川（さぬき市）」にて同様に運営支援報告を行った。

（８）まるみプラン推進事業

事業費 1,590,984 円

① 第 2 期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）の推進

上記計画を実践するため、各地区（7 町）の地域福祉活動計画実行委員会や地区社協が主体となり、それぞれの計画の実践に向けた具体的な協議と活動の広がりや新たな事業が展開された。

＜地区実行委員会等の開催・運営＞

地区名	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
高瀬	開催事業に応じてボランティアスタッフ募集	（プラットフォームとして）まるみプロジェクト	会議 10 事業 11	地区社協を中心とした「まるみプロジェクト」として計画実施。 「み～んなで遊ぼう！夏まつり」支援センターで交流事業・「まるみクッキー試作品」配布。「高瀬健康ウォーキング」開催。「あそびの館詰」事業。地域

				の行事や各団体等でラジオ体操の普及推進。 会議・事業で延 9 6 2 人参加。
山本	1 9	全体会 地区社協 会長会・ 正副委員 長会等	2 5	「宝山湖公園ウォーキング」、「お花見ウォーキング」開催。保育所交流事業「夕涼み会、もちつき会」等の参加協力。各地区運動会等でのゴミの持ち帰り推進。
三野	1 3	全体会 分科会等	4 1 4	「ゴミ持ち帰り運動」の推進。 「子育て 1 0 カ条」の各戸配布（啓発） 「みのふるさと再発見ウォーキング」開催。
豊中	2 3	全体会 リーダー会	7 7	笠田小学校周辺にて第 8 回「芋炊きウォーキング」開催（参加者 2 8 8 人）。町文化祭会場へ活動紹介パネルや防災用品展示にて広報活動（来場者約 2, 9 0 0 人）。食改の協力を得て校区伝達講習会（男性料理教室）を開催し健康食育活動を実施（参加者 6 1 人）。
詫間	1 0	全体会 事業 作業等	3 2 2	たくま健康福祉まつり実行委員会を主催として、健康・福祉をテーマに開催。各団体の参加促進、交流連携を図る。体力測定会の参加、協力。ラジオ体操の普及促進。
仁尾	1 6	全体会 事業	2 5	仁尾中、仁尾小、曾保小学校区防災訓練。クリーン作戦&炊き出し訓練。清掃活動（蔦島）。敬老会。
財田	3 1	全体会 打合せ会	3 5	「宝山湖ウォーキング」、「パフォーマンスシアター（腹話術・大道芸）」開催。

各地区別に 4 テーマ（健康・交流・安心安全・環境）に即した地域色豊かな事業について、実行委員や関係者らと協議を重ねるとともに、学校や行政や各種団体等との連携・協働により、子どもから高齢者まで幅広い地域住民活動へと浸透している。

なお、計画 3 年目ということで、初年度での取り組みを踏まえながら計画実施に取り組んだ。

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・実行委員会活動経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・各地区とも 150, 000 円の助成金を原資に地域での活動を展開した。

4. 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業)

事業費 2,354,150円

(内：県社協補助金 1,385,000円、県社協受託金 225,000円)

県社協の受託事業として、低所得・障害者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。併せて、既借受人を対象とした債権の管理及び世帯の実態把握を行うため、県社協主催で相談会を年2回(8月・12月)実施し情報収集等に努めた。

<相談・貸付状況>

(単位：件・円)

資金種別	相談件数	貸付件数	県社協貸付金額
福祉資金(福祉費)	32	0	-
福祉資金(緊急小口)	51	13	595,000
教育支援資金	44	4	679,000
その他	70	0	-
計	197	17	1,274,000

5. 福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業) (県社協受託事業)

事業費 8,610,343円

(内：県社協受託金 2,958,000円、利用料 508,500円)

高齢や障害により判断能力が不十分で、日常生活を送るうえで必要なサービスを利用するための情報を入手したり、理解したり、判断をすることが自分だけでは適切に行うことが困難な方に対し、地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスを利用するために必要な手続きの援助、公共料金の支払いや年金の受領確認、生活費の払戻などの日常のお金の管理、通帳や年金証書などの書類の預かり支援等を本人との契約により行った。平成20年度より事業を実施している。

<相談・援助件数>

(件)

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの・その他				合計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	15	7	5	0	27
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	3	0	1	3	7
c. 相談援助件数 (a・b以外)	1,116	1,249	852	205	3,422

＜利用者の状況＞

(人)

対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規契約者	2	1	1	0	4
契約終了者	5	1	2	2	10
平成 29 年度末利用者	7	10	9	3	29

(内：生活保護受給者 6 人)

＜利用者の年代別内訳＞

(人)

年齢	90 才代	80 才代	70 才代	60 才代	50 才代	40 才代	30 才代	20 才代
人数	1	5	3	6	5	5	2	2

●生活支援員の活動について

生活支援員 6 人（内：職員 2 人）が利用者に対し、訪問を行った。

＜研修会、関係機関の会議等への出席＞

開催日	会議名	開催場所
29 年 4 月 27 日 29 年 6 月 21 日 29 年 8 月 23 日 29 年 10 月 25 日 29 年 12 月 20 日	生活福祉資金貸付事業 日常生活自立支援事業 生活困窮者自立支援事業等担当者 定例会	香川県 社会福祉総合センター
29 年 7 月 22 日 30 年 2 月 11 日	あんしんネット勉強会	香川県 社会福祉総合センター
29 年 9 月 23 日	第 26 回あんしん相談会	善通寺市総合会館
29 年 12 月 2 日	成年後見制度等普及啓発講演会	サンポートホール
29 年 4 月 25 日 29 年 7 月 26 日 29 年 10 月 31 日 30 年 1 月 23 日	三観地域自立支援協議会	三豊市役所 観音寺市役所等
30 年 1 月 23 日	障害者差別解消法研修会	ハイスタッフホール
29 年 7 月 7 日 29 年 10 月 31 日 29 年 11 月 13 日 30 年 2 月 23 日	精神障害者地域移行・地域定着支 援のための研修会（精神科病院訪 問含む）	三豊合同庁舎、永康病 院等
29 年 6 月 29 日 29 年 11 月 26 日 30 年 2 月 21 日	三豊市発達障害等支援連携会議 （研修会含む）	三豊市役所等
30 年 1 月 30 日	地方協議会法テラス研修会	丸亀市保健福祉センター
30 年 3 月 12 日	生活支援員等ブロック別研修会	丸亀市保健福祉センター

6. 法人成年後見等事業

事業費 3,142,463円 (内：手数料 1,540,000円)

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など判断能力が不十分な方に対し、裁判所より選任を受け、本人の判断能力や生活の実情に応じた身上監護及び財産管理を行う事業である。ケースの内容によっては、弁護士と複数での受任も行っており、本会では平成22年度より事業を実施している。

なお、後見報酬（手数料）は裁判所が決定する。

＜受任状況＞ ※平成29年度末の受任件数9件 (件)

類型	成年後見	保佐	補助	合計	終了
平成28年度までの件数	7	5	0	12	3
平成29年度の件数	0	1	0	1	1

＜利用者の年代別＞ (人)

年齢	90歳代	80歳代	70歳代	60歳代	50歳代	40歳代
人数	3	2	0	2	1	1

(生活保護受給者なし)

●三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

適正な業務を担保するために受任適否の判断や後見業務の指導等を受けることを目的に法人成年後見事業検討委員会を設置している。

＜委員会構成＞

選出区分	備 考
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
社会福祉協議会役職員	三豊市社会福祉協議会監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	一般社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
行政機関関係者	三豊市介護保険課

＜委員会＞

開催日	内 容	開催場所
29年9月22日	新規受任について審議 辞任について審議(第13回)	高瀬町社会福祉センター
30年3月19日	受任ケースについて報告(第14回)	高瀬町社会福祉センター

＜研修会、関係機関の会議等＞

開催日	会 議 名	開催場所
29年10月8日 29年10月27日	成年後見制度人材養成研修Ⅱ 成年後見制度人材養成研修Ⅲ	香川県社会福祉総合センター

29 年 11 月 7 日	関係機関連絡会議～司法と福祉の意見交換会～	観音寺市社会福祉センター
29 年 12 月 2 日	成年後見制度等普及啓発講演会	サンポートホール
30 年 1 月 15 日	地域ケア会議	市役所詫間支所
30 年 1 月 25 日	三豊市成年後見制度利用促進審議会準備会	市役所

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 104,400円

※香川おもいやりネットワーク事業

フードバンクや資金貸付事業等との連携で人と人をつなぎ、ふだんの暮らしを支えることを目的として、社会福祉施設と社会福祉協議会と民生委員・児童委員がつながり、支援を必要とする方に「地域全体が支援する仕組み」をつくり、「福祉でまちづくり」をめざした事業。

なお、平成29年度はフードバンクでつなげることができたため実績はなかったが、14人に対して継続的に相談及び支援を行った。

8. ファミリー・サポート・センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 7,019,291円 (内：市受託金 6,933,351円)

(1) ファミリー・サポート・センター事業

事業費 5,508,552円

① 会員数及び活動件数

事業開始後、10年経過し会員数が順調に増加となり、今年度で1,000人に達した。利用した会員の口コミによるPRも広がり会員登録、援助依頼も増加している。会員宅や各地域子育て支援センター・つどいの広場等アドバイザーが出向き、随時面接を行い登録の手続きをすることにより会員の増加に努めた。また、継続の依頼も多くなり会員同士の信頼関係も順調なため利用が広がり、安心安全に援助が受けられることが件数増加につながっている。

<会員数>

(人)

会員種別	本年度	前年度	増減
提供（まかせて）会員	274	263	11
依頼（おねがい）会員	689	661	28
両方会員	41	41	0

<活動実績>

(件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	833	935
② 放課後児童クラブまでの送迎 (230)、終了後の預かり (14)	244	551
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	336	227
④ 小学校へ送迎	175	0
⑤ 保護者等の外出の場合の援助	184	70
⑥ 保育所・学校等休み時の援助	87	86
⑦ 習い事等の送迎	590	869
⑧ その他 (下欄に具体的に記入)	585	230
・母親 (おねがい会員) 宅にての預かり・母親同伴の預かり	(550)	(105)
・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(7)	(17)
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(10)	(94)
・保護者の病気、その他急用の場合の援助	(17)	(12)
・他の子どもの病気時・保護者等の求職活動中の援助等	(1)	(2)
合 計	3,034	2,968

② 会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催

(ア) ファミサポの要となる「まかせて会員」養成講座を年2回開催した。今年度から専門知識を身に付けていただき、安心安全に子どもの預かりが行えるよう、4日間延べ24時間の講習となった。

<養成講座>

(人)

開催日	講習会	開催場所	受講者数
6月 1日	第1回 「まかせて会員」 養成講座	豊中町保健センター	11
6月 2日			10
6月 5日			12
6月 6日			12
11月 9日	第2回 「まかせて会員」 養成講座	豊中町保健センター	4
11月10日			7
11月13日			7
11月14日			11

(イ) 会員のスキルアップをめざしフォローアップ講習会を開催した。わらべ歌や折り紙、ハンカチを使った遊びの講習会を開催し、子どもを預かったときにどのような方法で関わると楽しく過ごせるか学ぶことができた。また、サポートミーティングを行い、これまでの援助中に起きたヒヤリハットの中から事例をピックアップし、対策や改善点を話し合いこれからの援助に、活かせる講習会となった。

<フォローアップ講習会>

(人)

開催日	講習会名	開催場所	受講者数
7月14日	子どもと楽しく 関わるために！パートⅡ	豊中町保健センター	21

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員同士の交流を図るために交流会を3回開催した。アンケートの意見をもとに内容等を検討してきた結果、参加者数も増加している。また、子育て世代だけでなく幅広い世代の方との交流を図ることで、ファミサポのPRもでき会員登録につながり、今後も事業への参加を広げていく。

<交流会>

開催日	交流会名	開催場所	参加者数(人)
4月15日	ミニ交流会	豊中町保健センター	45
8月26日	全体交流会	豊中町保健センター	33
12月3日	クリスマス会	三野町保健センター	106

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場に出張登録会を兼ね定期的に出向き、活動内容等の情報交換、要望、また施設の利用者の意見などを基に、よりよいサービスの充実を検討し調整を図った。

(イ) 県内の関連機関(県・他センター)との連携を取り、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。県内ファミサポ連絡会に参加し、現在ファミサポに求められていることなど互いの考えや視野を変えた方法を話し合い、今後の手立ての参考になった。

<県内ファミサポ連絡会>

開催日	内容	開催場所
7月7日	ちょっと気になる子どもの支援について 他	宇多津町保健センター
12月22日	ファミサポの活動がより安心・安全な活動になるために他	坂出市社会福祉会館

(ウ) 全国アドバイザー交流会に参加し、全国の活動実施報告を聞き、情報交換・意見交換等を行うことにより交流を深めた。事故防止と事故対応の取り組みから、ファミリーサポートセンターとして行うべきリスクマネジメントを学び、今後の参考資料になった。

<全国アドバイザー研修会>

開催日	内容	開催場所
10月5日	事故防止と事故対応の取り組み、グループワーク、情報交換他	ホテル大阪ベイタワー

(エ) リスクマネジメント実践セミナーに参加し、教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時対応のためのガイドラインを基にファミリーサポートセンターで活用するための実践セミナーに参加した。事故が起きないようにセンターとしてできることを学び、ファミサポ通信での事故防止啓発活動やまかせて会員対象のリスクマネジメント講習会開催への資料作成の参考になった。

<リスクマネジメント実践セミナー>

開催日	内容	開催場所
11月20日	ファミリーサポートセンターで活用するための実践セミナー、講義&グループワーク	大阪市中央区北浜 三井住友大阪淀屋橋ビル

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年 3 回発行し、各施設等に配布して活動状況や会員数・イベント情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。広報「みとよ」・社協だより「しちふく」にも定期的に情報を掲載し地域への情報発信を行い、会員増強に努めた。ホームページによりさらに情報提供の輪を広げ、いつでも活動内容の情報をキャッチできるよう努めた。

発行物	ファミリーサポートセンターチラシ、(広報「みとよ」社協だより「しちふく」)、ファミサポ通信(年 3 回発行)、まかせて会員養成講座チラシ、ファミリーサポートセンター通信増刊(2 月発行)、子育てホームヘルプチラシ
ホームページ掲載	三豊市・本会ホームページ

(2) 子育てホームヘルプ事業

事業費 1,510,739 円

産前(2 ヶ月)・産後(6 ヶ月)期に子育てホームヘルパーを派遣して、育児または、家事の援助、相談を行うサービスを平成 23 年度より実施している。7 年を経過し事業の知名度が浸透してきており、6 ヶ月を過ぎるとファミサポにつなぐ援助も定着してきている。

●登録会員数及び利用件数

＜利用者・子育てホームヘルパー数＞ (人)

登録会員数	利用者	63	(依頼人数 12)	人数計
	子育てホームヘルパー	64	(派遣人数 13)	127

＜活動件数＞

活動実績	相互援助活動の取組内容	活動件数
	① 食事関係(調理全般)	47
	② 子どもの世話(子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ)	38
	③ 支援センター付添	1
	④ 幼稚園の迎え付添	3
	⑤ 買い物	1
	⑥ 予防接種・健診・上の子の病院受診付添	8
	⑦ 掃除(洗濯・風呂掃除・トイレ掃除)	5
	合 計	103

＜子育てホームヘルパーフォローアップ講習会＞ (人)

開催日	講習名	開催場所	受講者数
2 月 24 日	子育てホームヘルパー講習会 「おもちゃ作りと絵本の読み聞かせ方」	豊中町 保健センター	18

9. 居宅介護支援事業

事業費 59,877,890円 (内：介護保険事業 25,168,334円)

事業所の介護支援専門員6人が、要介護状態にある高齢者（介護予防等支援含む）に対し、適正な居宅介護支援を提供した。

① 要介護ケアプラン業務

平成29年度 延人数 1,760人(28年度 1,860人) 前年度対比94.6%

プラン料 要介護1、2 = 10,420円

要介護3～5 = 13,530円

※利用者の自己負担無

<介護度別内訳> (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
546	622	304	148	140	1,760

<月別ケアプラン作成件数> (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
人数	156	153	148	146	148	148	151	149	142	141	136	142	1,760
内初回加算	5	2	2	1	4	7	6	2	1	3	2	10	45

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 (三豊市受託事業)

要支援1、2及び事業対象者

平成29年度 延人数 331人(28年度 215人) 前年度対比154.0%

受託金 1,304,970円

プラン料 3,870円/件・初回加算(新規) 3,000円/件

<月別予防プラン作成件数> (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
人数	25	26	26	29	27	29	28	27	28	26	27	33	331
内新規対象者	1	0	0	3	0	0	0	1	0	0	2	1	8

③ 介護保険認定調査事業 (三豊市受託事業)

介護保険法に定める要介護認定調査業務(市外自治体7件含む)を受託し、介護支援専門員3人が実施した。また、居宅介護支援事業所の質の向上を目指し、ケアマネ 会議(事業所内)を月1回開催から、1月より週1回(21回/年)開催し、議題に基づき共有連携を図った他、市の実施する医療介護連携勉強会・介護サービス事業者協議会主催の介護研修にも参加する等スキルを磨いた。

・平成29年度 調査人数 1,044人(28年度 1,100人) 前年度対比94.9%

受託金 3,541,114円

調査料(市)在宅 = 3,500円/件

施設＝ 2,500円/件
市外＝3,000円/件～4,067円/件

<月別認定調査件数>

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市	91	88	90	90	91	90	90	90	90	88	85	54	1,037
市外	0	1	0	2	0	0	1	2	1	0	0	0	7

<介護支援専門員研修>

開催日	参加者	研 修 内 容
5月24日	4	「地方の時代」市長講演(協議会)
5月29日	6	「苦情から学ぶ～介護支援専門員の役割・基本姿勢」について(包括)
6月1日	4	高齢者の栄養について(医療介護連携)
6月6日	1	「心を癒す懐かしいメロディ」音楽療法の力(セミナー)
7月18日	5	高齢者の消費者被害について(課内)
7月20日	1	介護過程～利用者を主体とした個別ケア(セミナー)
7月27日	7	介護支援専門員の基本姿勢について(包括)
8月3日	3	「医療・介護の連携での困りごと＝皮膚疾患」(医療介護連携)
	1	西讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会
9月7日	2	「心不全について知ろう」(医療介護連携)
9月28日	2	看護の視点から見た高齢者の特徴(包括)
	1	「急変時の対応」(苦情解決研修)
10月5日	2	認知症の周辺症状への対応(医療介護連携)
10月18日	2	「認知症ケア～みなさん悩んでいませんか～」(協議会)
11月2日	3	他職種連携の薬剤師の役割について(医療介護連携)
11月21日	3	「ストレングスを活用したケアマネジメントとチームアプローチの徹底と強化について」(CSW三観研修)
11月22日	2	介護支援専門員実務研修実習指導者研修
11月28日	3	摂食・嚥下障害における食事場面の注意点と工夫(包括)
12月7日	2	「高齢者のちょっとおかしいに気づきアセスメントの向上へ」～かかりつけ医とのよりよい連携のために～(医療介護連携)
1月11日	2	「高齢者の疾患について知り早期の対応を考えよう」(医療介護連携)
1月17日	1	「腰痛を防止する介護技術の実際」(協議会)
1月21日	3	「運営基準とケアマネジメント」「アセスメントの重要性について」(資質向上研修)
1月26日	4	「実践的事例検討法を学ぼう」(包括)
	1	「腰痛防止介護技術」(協議会)
2月1日	2	「社会資源について考えよう」(医療介護連携)
2月9日	2	「誰もが安心して出かけられるまちへ」(CSW三観研修)
2月15日	1	「他職種連携の意味と必要性～事例検討を通して」(西讃主任連絡会)
2月25日	1	認知症を考える会(西香川病院)
3月1日	3	「事例を通して他職種連携による在宅支援を考える」(医療介護連携)
3月24日	1	認知症を理解するための講演会(包括)
3月26日	2	集団指導(居宅介護支援事業所)

＜その他＞ 専門研修課程Ⅰ・Ⅱ(介護支援専門員更新に係る研修),主任介護支援専門員研修に
 該当者が参加。認定調査員現任研修への参加。

・課内介護リーダー会議(4/12・5/17・6/14・7/11・8/16・9/14・10/11・11/15・12/12・
 1/18・2/14/3/16)への参加(構成メンバー:事業所管理者等5人)。

10. 訪問介護事業

事業費 58,512,739円 (内:介護保険事業 51,871,538円)

(1) 訪問介護事業

事業費 50,282,291円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要
 介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。介護
 保険・障害福祉サービスの事業所を管理者・サービス提供責任者の4人が、訪問計
 画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を
 目指し支援を行った。

＜介護度別利用人数＞ (平成30年3月31日現在) (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
26	22	14	4	6	72

＜月別利用人数＞ 平成29年度 945人(28年度945人)前年度対比 100% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
77	76	79	79	78	81	82	87	80	80	74	72	945

＜月別利用回数＞ 平成29年度 12,065人(28年度12,483人) 前年度対比 96.7% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
985	1,023	1,013	1,045	1,005	1,021	1,069	1,107	1,063	952	848	934	12,065

(2) 生活支援訪問事業

事業費 7,358,323円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、
 その心身状況や環境状況に応じて適切に訪問サービスを実施した。

＜対象別実人数＞ (平成30年3月31日現在) (人)

事業対象者	要支援1	要支援2	合 計
3	17	32	52

※予防サービス利用者は、訪問サービス(Ⅰ)～(Ⅲ)を選択できる。

介護予防訪問介護(Ⅰ)…週1回程度の利用 1,168/単位(1単位:10円)

介護予防訪問介護(Ⅱ)…週2回程度の利用 2,335/単位(1単位:10円)

介護予防訪問介護(Ⅲ)…週3回程度の利用 3,704/単位(1単位:10円)

(週3回利用は支援2以上が対象)

<月別利用人数> 平成29年度 498人(28年度413人) 前年度対比 120.6% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
36	38	40	39	41	40	41	40	41	44	46	52	498

<月別利用回数> 平成29年度 3,487人(28年度2,845人) 前年度対比 122.6% (回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
240	291	288	280	295	280	302	287	278	292	299	355	3,487

(3) その他訪問事業 事業費 872,175円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

ひとり暮らし高齢者への訪問事業で、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関との連絡調整を行い、要介護状態の進行予防にもつなげた。

受託事業収入 378,780円

利用者負担金 41,595円

(週1回1時間程度の訪問サービス)

○平成29年度時間数177時間 (28年度183時間) 前年度対比96.7%

派遣回数	時間数	延利用者数	対前年度比(時間数)
177回	177時間	50人	96.7%

② 養育支援訪問事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した訪問による養育支援が必要である家に対し、訪問サービスを実施、養育に関する相談、必要な支援を行った。

平成29年度時間数68時間3家族(28年度19時間1家族) 前年度対比357.9%

派遣回数	時間数	延利用者数	対前年度比(時間数)
46回	68時間	23人	357.9%

③ 支援サービス事業

介護保険事業の訪問サービスを全額利用者負担で提供している。

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問するヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービスの向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修に参加した。

<訪問介護事業(障害含)における研修会及びカンファレンスの開催状況>

開催日	参加者(人)	研修内容
4月18日	15	ヘルパーミーティング(高瀬地区)ケースカンファレンス
20日	13	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)個別カンファレンス
5月22日	6	ヘルパーミーティング(財田・山本地区)ケース検討

6月15日 22日	16 13	ヘルパーミーティング(高瀬地区)ケースカンファレンス ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)個別カンファレンス
7月12日 18日	4 29	介護サービス事業者協議会研修「施設・在宅における口腔ケア」 社協介護職員研修「高齢者の消費者被害について」
8月16日 29日	1	サービス提供責任者実践力研修
9月12日 28日	16 1	ヘルパーミーティング(高瀬地区)ケースカンファレンス 福祉サービス苦情解決事業研修会
10月18日	13	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)個別カンファレンス
11月16日	15	ヘルパーミーティング(高瀬地区)ケースカンファレンス
1月17日	1	介護サービス事業者協議会研修「腰痛を防止する介護技術の実際」
2月14日 19日	12 7	ヘルパーミーティング(高瀬地区)ケースカンファレンス ヘルパーミーティング(財田・山本地区) ケース検討
3月22日	12	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)個別カンファレンス
集団指導	各1	訪問介護 3/22・居宅介護、行動援護 3/27
養成研修	2	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)9/29. 10/4 強度行動障害支援者養成研修(実践研修)3/14. 15

11. 障害福祉サービス事業

事業費 5,474,098円 (内:障害福祉サービス等事業 5,715,087円)
障害者の日常生活を支援するために、身体障害・知的障害・精神障害等のある方に対し、自立した日常生活を営むことができるよう、ヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも行った。

(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護) 事業費 5,003,963円

(2) 障害福祉サービス事業(行動援護) 事業費 470,135円

<区分別利用人数> (人)

行動援護 (区分5該当)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	その他 (未成年)	合 計
(1)	11	9	3	2	2	1	28

平成29年度延べ利用者数 332人(28年度333人)前年度対比99.7%

(内訳 居宅介護 320人・行動援護 12人)

給付費収入 5,040,206円 利用者負担金 22,954円

<月別利用者数> (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
28	27	27	27	27	28	28	28	27	28	27	30	332

＜月別利用日数＞ 平成 29 年度 2,202 日(28 年度 2,683 日)前年度対比 82.1% (日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
居 宅	171	187	175	172	181	181	195	183	168	162	157	174	2,202
行 動	8	8	9	7	8	7	9	7	8	8	8	9	

・その他(三豊市受託事業)

平成 29 年度は、障害程度区分認定前の対象者 1 人に対し、10 月より週 2 回程度の家事援助を実施した。

受託事業収入(居宅介護) 91,287 円(1 回あたり 1,890 円他)

家事援助サービス(実施期間 H29.10 月～H30.3 月) (週 2 回)

派遣回数	時間数
42 回	42 時間

12. 移動支援事業 (三豊市・観音寺市受託事業)

事業費 1,646,500 円 (内:障害福祉サービス等事業 1,646,500 円)

1 回あたりの費用 30 分まで 1,500 円

1 時間まで 3,000 円

以後 30 分につき 1,000 円

【三豊市受託事業】

＜月別利用者数＞ 平成 29 年度 76 人(28 年度 83 人)前年度対比 91.6% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
6	6	7	6	6	7	6	6	7	6	6	7	76

＜月別利用回数＞ 平成 29 年度 507 回(28 年度 514 回)前年度対比 98.6% (回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
41	44	44	41	47	41	43	44	41	41	39	41	507

【観音寺市受託事業】

＜月別利用者数＞ 平成 29 年度 9 人(28 年度 3 人)前年度対比 300.0% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	9

＜月別利用回数＞ 平成 29 年度 9 回(28 年度 10 回)前年度対比 90.0% (回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	9

【事業の種類・開催場所】

事業の種類	事業所名	開催場所
居宅介護支援 (介護予防支援・介護予防ケアマネジメント)	三豊市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所	高瀬支所

訪問介護 (介護予防・日常生活支援総合事業・生活管理・養育・支援サービス)	三豊市社会福祉協議会 訪問介護事業所	
--	-----------------------	--

<障害福祉サービス事業所>

事業の種類	事業所名	開催場所
居宅介護 移動支援	三豊市社会福祉協議会たかせ	高瀬支所
重度訪問介護	三豊市社会福祉協議会たかせ	
行動援護	三豊市社会福祉協議会たかせ	

※ヘルパー連絡所を、本会仁尾支所・財田支所に設置。

13. 高齢者デイサービスセンター事業 (三豊市受託事業)

事業費 44,720,792円 (内:介護保険事業 44,549,472円)

通所介護事業(三豊市財田町デイサービスセンター)を財田町国保高齢者保健福祉支援センターにて実施、登録利用者51人(平成30年3月31日現在)

利用者全員が財田地区在住である。

<介護度別利用人数>

(人)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	4	4	18	15	8	0	1	51

<活動内容>

時間帯	活動内容
9時～	送迎車で職員が自宅まで迎え
9時45分～15時	健康チェック・入浴・手作業・昼食・休息・レクリエーション・おやつ等
15時15分	送迎車で職員が自宅まで送る

<月別実施状況> 平成29年度利用延人数5,671人(28年度利用延人数 6,049人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	20	20	22	20	21	20	21	20	20	19	19	21	243日
月別利用者数	51	49	47	45	45	47	44	48	50	48	48	43	
利用延人数	524	468	506	461	494	477	468	480	475	424	435	459	5,671人

<実施日数等>

実施日数	利用延人数	1日平均利用者数	対前年度比(延人数)
243日	5,671人	23.3人	93.8%

14. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業)

事業費 3,927,856円 (内:介護保険事業 3,360,000円)

総合事業(通所型サービスA事業)として、環の湯にて週2回(水・金)実施した。登録利用者は21人(平成30年3月31日現在)、週1回の利用を行った。登録利用者

は全員財田地区在住である。

※利用者負担額 1回 一律 1,200 円(昼食、『環の湯』入浴料含む)

＜月別実施状況＞ 平成 29 年度利用者延人数 840 人 (28 年度利用延数 840 人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
実施日数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	95 日
月別利用者数	22	22	22	22	20	20	20	20	21	21	22	21	
利用延人数	69	75	70	71	78	73	71	72	65	54	73	69	840 人

実施日数	利用延人数	1 日平均利用者数	対前年度比(延人数)
95 日	840 人	8.8 人	100.0%

15. 高齢者生活福祉センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 2,839,087 円 (内:市受託金 2,839,087 円)

＜入居者数＞ 財田町国保高齢者保健福祉支援センター 2 階 (人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入居者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2

入居者 2 人(70 歳代)を宿直員 1 人が巡回し、見守り活動等を実施。(宿直員 4 人交代)

16. その他事業

(1) 老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

当連合会の事務局を務め各所への連絡調整、各会議、・委員会の開催、行事の開催等の支援を行った。

＜総会・理事会・女性委員会・部会＞ (人)

開催日	会 議 名 等	参加人数
4 月 17 日	第 1 回芸能発表会運営委員会	14
5 月 1 日	第 113 回理事会	9
5 月 1 日	第 1 回女性委員会	7
5 月 10 日	第 12 回総会	185
5 月 16 日	第 1 回ペタンク大会運営委員会	7
6 月 16 日	第 2 回芸能発表会運営委員会	13
6 月 19 日	第 114 回理事会	9
7 月 11 日	第 3 回芸能発表会運営委員会	14
7 月 21 日	第 115 回理事会	9

8 月 21 日	第 116 回理事会	9
8 月 29 日	第 4 回芸能発表会運営委員会	13
9 月 25 日	第 117 回理事会	9
9 月 29 日	第 1 回広報紙編集委員会	4
10 月 24 日	第 118 回理事会	8
11 月 22 日	第 119 回理事会	9
12 月 11 日	第 2 回広報紙編集委員会	6
12 月 22 日	第 120 回理事会	9
1 月 22 日	第 121 回理事会	9
2 月 16 日	第 3 回広報紙編集委員会	7
2 月 19 日	第 122 回理事会	8
3 月 26 日	第 123 回理事会	9
3 月 26 日	第 2 回女性委員会	5

<町老連・地区老連等事業>

スポーツ大会の開催 (市老連助成事業)	各町老連で運動会・種別スポーツ大会等を開催（参加人数延べ 1, 097 人）
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 (チーム数：58) (たまり場活動数：99)
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施
地域の（子ども）見守り活動 と「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動展開 (クラブ数：20) (会員数：334 人)

<市老連主催事業>

(人)

開催日	会議名等	内容	人数
4 月 28 日	第 1 回女性委員会主催 研修会	三豊警察署「特殊詐欺防止に向けて」旧町散策（山本編）し、歴史や文化にふれ親睦交流を図る。	74
6 月 1 日	第 3 回ペタンク大会	健康増進や生きがいの創出及び親睦交流を図る	180
6 月 30 日	第 5 回グラウンドゴルフ大会	健康増進や会員相互の親睦交流を図る	224
7 月 14 日	第 2 回女性委員会主催 研修会	講演「熱中症予防について」・調理実習	36
8 月 5 日	第 3 回芸能発表会	28 組 60 人がカラオケ・舞踊・詩吟・演劇・ダンス等を披露	248

10月20日	単位クラブ活動研修会	単位クラブ実践発表・講演 講演「認知症の正しい理解と関わり方」	152
1月27日	第3回女性委員会主催研修会	音楽療法と調理実習	36
2月7日	リーダー研修会	若手育成研修（先進地：今治市訪問）	34

<その他研修等参加>

(人)

開催日	研修等	内容	人数
5月28日	三豊市「歯と口の健康フェスタ」への協力	口を使った遊びコーナーを担当約 850人の親子と交流及び指導（ピロピロ笛、折り紙風船作りなど）	14
6月29日 ～30日	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	基調報告・事例発表・講演	1
8月3日 ～4日	第58回四国老人クラブ大会	表彰・講演・事例発表	3
9月	老人の日・老人週間 「社会奉仕の日」	各地区老人クラブで実施	
9月7日	見守り支援を考える友愛の集い	高齢者の見守りと支え合い活動の推進をテーマに開催（事例発表・手話ダンス・講演）演題「家庭内事故防止対策」	14
9月27日	シニアスポーツ交流大会（ペタンク）	香川県総合運動公園で開催	33
10月25日	シニアスポーツ交流大会（グラウンドゴルフ）	瀬戸大橋記念公園球技場で開催	45
11月17日	ぼちぼちクラブ香川 みんなの集い	表彰式典・記念講演 演題「いくつになっても助け愛♡」	110
3月6日	地域リーダー研修会	事例発表・グループ協議	14

（２）共同募金事業

本会定款第1章、第2条(6)に基づき、地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするために、共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制を進めた。

<一般募金>

(円)

募 金 方 法	目 標 額(A)	実 績 額(B)	比較増減(B)－(A)
戸 別 募 金	17,730,000	17,254,000	△476,000
街 頭 募 金	150,000	159,882	9,882

法人募金	3,700,000	3,655,716	△44,284
学校募金	620,000	636,020	16,020
職域募金	1,100,000	1,108,500	8,500
イベント募金	10,000	32,518	22,518
その他の募金	150,000	200,659	50,659
合 計	23,460,000	23,047,295	△412,705

<街頭募金>

(人)

地区名	実施日	実施場所	参加人数
高瀬	平成 29 年 10 月 2 日	マルナカ高瀬店	12
	平成 29 年 10 月 3 日	マルヨシセンター高瀬店 マックスバリュ高瀬店	12 11
山本	平成 29 年 10 月 10 日	マルナカ山本店	12
三野	平成 29 年 10 月 5 日	ピカソ三野店	16
豊中	平成 29 年 10 月 3 日	マルナカ豊中店	32
		ゆめタウン三豊	5
詫間	平成 29 年 10 月 2 日	JR 詫間駅	17
仁尾	平成 29 年 10 月 2 日	株式会社 今川	7
財田	平成 29 年 10 月 7 日	道の駅たからだの里物産館	11

<審査委員会>

開催日	内容	結果
平成 29 年 5 月 30 日	・委員長及び副委員長の互選について	承認
	・平成 30 年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について	承認
平成 30 年 2 月 6 日	・監事の選任について	承認
	・平成 29 年度募金結果について ・平成 30 年度事業共同募金地域助成計画(最終)について	報告 承認

<運営委員会>

開催日	内容	結果
平成 29 年 6 月 2 日	・運営委員の選任について	承認
	・会長及び副会長の互選について	承認
	・監事の選任について	承認
	・審査委員の選任について	承認
	・平成 28 年度共同募金収支決算について	承認
	・平成 30 年度共同募金推進計画について	承認

平成 30 年 3 月 15 日	・平成 29 年度募金結果について ・平成 30 年度三豊市共同募金委員会予算について ・運営委員及び監事の選任について	報告 承認 承認
---------------------	--	----------------

<会計監査>

開催日	主 要 付 議 事 項	結果
平成 29 年 5 月 25 日	・平成 28 年度決算監査	認定

<平成 28 年度共同募金(29 年度事業)地域助成事業>

(円)

助成先（事業執行者）	事業件数	事業名	助成金額
三豊市社会福祉協議会	8	地域活動支援事業・サロン活動推進事業・広報啓発事業・みとよ福祉まつり開催事業・三豊市福祉大会開催事業・安心安全推進事業、まるみプラン推進	10,287,910
地区社協 自治会連合会等	29	地域福祉用器具等設置事業・元気会、男性クッキング事業・防災啓発事業・広報制作発行事業・地域福祉交流活動事業・自治会内福祉活動等	4,240,000
福祉団体 ボランティア団体	70	身障スポーツ大会開催事業・子育て応援事業・ひとり暮らし等高齢者電話訪問事業・社会を明るくする運動・親子ふれあい事業・花いっぱい運動・点訳絵本作成事業・更生保護事業・友愛活動・環境美化活動・施設訪問・大楠保存活動ボランティア事業・おはなし会等	4,075,000
合 計	107		18,602,910

（３）子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、平成 18 年に社協が子育てボランティア養成講座を実施した際、自分たちにできる育児の手伝いと、社協が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。本会が事務局を務め、三豊市内での行政、各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。

<託児活動>

行事名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	7	46	三豊市子育て支援課
がん検診	21	62	三豊市健康課
三豊市愛育会関連行事	3	24	三豊市子育て支援課
豊中町愛育会関連行事	7	49	豊中町愛育会
ファミサポ関連行事	1	4	みとよファミリー サポート・センター
健康料理教室	2	4	まちづくり推進隊三野
子育て講演会	1	5	三豊市子育て支援課
発達障害講演会	1	2	NPO法人西讃教育 支援ネットワーク
合計	43	196	

<自主行事>

(人)

開催日	活動内容	開催場所	人数
4月27日	総会（茶話会、基調講演） （講演）「すこやかに過ごすために」 講師：三豊総合病院副院長 中津守人 先生	豊中町農村環境改善 センター	38
7月12日	研修会（リズム遊び） 講師：高木万紀子 先生	豊中町保健センター	12
10月13日	みとよ健康福祉まつり準備（テント設 営・ポップコーン作り）	豊中町農村環境改善 センター 三豊市総合体育館	6
10月14日	みとよ健康福祉まつり（活動紹介、ポ ップコーン販売、折り紙コーナー）	三豊市総合体育館	9
10月24日	視察研修会（日本食研宮殿工場、タオ ル美術館他）	愛媛県今治市	24
12月6日	研修会（年賀状で鍋敷き作り） 講師：みみちゃん会長 森 恵美子 先生	豊中庁舎健診ホール	16
2月13日	研修会（料理教室） 講師：前山由美子 先生	豊中町保健センター （調理室・セミナールーム）	18

<協力行事>

(人)

開催日	活動内容	開催場所	人数
7月31日	障害児長期休暇中の預かり みとよきらっと☆くらぶボランティア参加(8:30~16:30) ※8/7は台風で警報発令にて中止	山本町保健センター	9
3月14日	「みとよきらっと☆くらぶ」 ボランティア研修会	山本町保健センター	16

(4) フードバンク事業

フードバンク事業は、食料品を寄付していただき、日々の食事に困っている市民に提供している。

この事業は「おもいやりネットワーク事業」や「生活福祉資金貸付事業」と連携を取りながら、地域で自立して生活できるよう支援することを目的としている。

平成29年度は、延40人から寄付をいただき、14人に対して相談及び支援を行った。

(5) 職員の資質向上

コミュニティソーシャルワークについて学ぶため、香川県コミュニティソーシャルワーク実践者研修等を受講した。また、三観ブロック研修会で三豊・観音寺地区の域福祉・医療・施設関係者等の専門職等と地域共生社会の実現に向けた取り組みについて学ぶとともに、実践事例についての報告を受けながら、各関係機関とのネットワークの構築を図った。

<県全体での研修会等>

(人)

開催日	研修内容	受講者数
平成29年 6月24日	コミュニティソーシャルワーク基礎研修 ラウンドテーブル①香川おもいやりネットワーク事業の取り組み ラウンドテーブル②地域包括ケアシステム～総合事業の取り組み～ ラウンドテーブル③地域における子育て・子育て支援の取り組み 講師：文京学院大学人間学部人間福祉学科准教授 中島 修 氏	10
平成29年 7月6日 ～7日	コミュニティソーシャルワーク(CSW)実践者養成研修 講義Ⅰ「新たな社会福祉のシステムとCSWの機能」 講義Ⅱ「CSWのプロセスと技法」 講義Ⅲ「CSW実践の具体的理解」 ワークショップⅠ「CSW視点による個別アセスメント」 ワークショップⅡ「CSWの視点による地域アセスメント」 講義Ⅳ「CSWにおけるチームアプローチ」 ワークショップⅢ「CSWの視点によるプランニング」 ワークショップⅣ「CSW実践プランニング」	3

	ワークショップⅤ「CSW実践プランの発表」 講師：日本地域福祉研究所副理事長 小野敏明 氏	
平成 29 年 11 月 10 日	CSW実践者スキルアップ事前研修 スキルアップ研修をより充実したものにするために、参加者同士によるグループコンサルテーションを実施。 講師：かがわCSW実践研究会役員・会員 5 人	1
平成 29 年 12 月 5 日 ～6 日	CSW実践者スキルアップ研修 講義「CSW技術のポイント」 グループコンサルテーション ワークショップ「ネットワーク会議・地域ケア会議の開催」 講師：日本地域福祉研究所 副理事長 小野 敏明 氏 主任研究員 國光 登志子 氏	1
地域福祉（CSW）実践者研修修了者 通算 10 人		

● 三観ブロックでのコミュニティソーシャルワーク（CSW）研修会

三観ブロックの事務局は観音寺市社協と三豊市社協で隔年交代で担っており、平成 29 年度の事務局は観音寺市社協が担当した。

研修会は 2 回開催され、観音寺市社協と協力しながら運営、参加した。

・第 1 回目研修会（三豊市社協より 12 人参加）

厚生労働省が提唱する『「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けて』の概念を学び、CSWの視点を交えながら、今後必要とされる多職種連携について参加者との情報交換を行った。

講師に、鶴ヶ島市社会福祉協議会事務局次長であり厚生労働省地域力強化検討会委員、日本相談支援専門員協会代表理事を務める菊本圭一氏を迎え、国の地域福祉に関する動向や施策の目的を学んだ。身近な暮らしの中にある住民活動や地域資源を見つめ直すことで新たな発見や連携につながることを聞いた。その後、地域で何ができるのか、どのような係わりが求められているのかを参加者でグループワークし共に考えた。

<ブロックでの研修会：第 1 回目>

開催日	研修内容	開催場所
平成 29 年 11 月 21 日	- 報告 「ストレングスを活用したケアマネジメントとチームアプローチの徹底と強化について」 講師：鶴ヶ島市社会福祉協議会（埼玉県） 事務局次長 菊本圭一 氏 - グループワーク	観音寺市立 中央図書館

・第 2 回目研修会（三豊市社協より 9 人参加）

様々な関係機関と連携し、地域の福祉課題に素早く取り組むためのネットワーク構築に向けて、社会資源の共有や開発について考える機会とした。

事例発表として「NPO法人福祉住環境ネットワークこうち」理事長 笹岡和泉氏から活動についての講演をいただいた。地域住民を巻き込んだ事業展開の方法やポイント、関係機関とのつながり方、事業を進める上での課題について地域福祉活動のヒントを得た。

グループワークでは、情報としての社会資源はあるが、十分に活用されていない、必要なものが地域で見つからない等、今後検討していかなければならない課題を話合った。参加者が様々なジレンマと対峙しながら業務に取り組んでいることが分かった。

＜ブロック別での研修：第2回＞

開催日	研修内容	開催場所
平成 30 年 2 月 9 日	・ 報告 「誰もが安心して出掛けられるまちへ」 講師：NPO法人福祉住環境ネットワークこうち 理事長 笹岡和泉 氏 ・ グループワーク	観音寺市社会福祉センター